

生産性向上ロボット導入・活用セミナーのご案内

近年、人手不足の深刻化や生産性向上への期待から、道内中小企業においても産業用ロボットに対する関心が一層高まっています。

こうした中、工業試験場では、本道食品加工メーカーに対するロボット導入の担い手（Sler）を育成するため、場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”を開設しました。

本セミナーでは、大阪大学の万准教授を招き、ロボットによるピッキングや組立作業に関する最先端の研究について、学術的／実用的の両方の観点から紹介いただきます。また、計量・包装機を手掛ける北海道イシダ株式会社より、食品工場における生産ラインのシステム構築について導入事例を交えて紹介いただきます。

是非、ご参加いただきますようご案内いたします。

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 令和元年11月19日（火）14：00～16：00 |
| 場 所 | 北海道総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場 研修室 （札幌市北区北19条西11丁目） |
| 内 容 | <p>講演① 14：00～15：00 「知能ロボットによるピッキング・組立作業の自律化」 大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻 原田研究室 准教授 万 偉偉 氏</p> <p>講演② 15：00～16：00 「食品工場における生産ラインのシステム構築（仮）」 北海道イシダ(株)</p>   |
| 主 催 | （地独）北海道立総合研究機構 |
| 対 象 者 | 道内製造業者、システムインテグレーター企業、他 |
| 参 加 費 | 無料 |
| 定 員 | 30名 |
| 申込方法 | 申込書にご記入の上、11月12日（火）までにE-mail又はFAXでお申し込み下さい。 |
| 申 込 先 | （地独）北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター（中村） E-mail：kaihatu@hro.or.jp FAX：011-726-4057 |

食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)について

- ◆経産省「地域における中小企業の実産性向上のための共同基盤事業」（H29補正、総事業費8,500万円）を活用し、当場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”（通称：ロボラボ）を新設。
- ◆本道初の「ロボットSler（ロボットシステムインテグレーター）の育成拠点」として各種ロボットを用いた実践的な技術習得を支援など、中小企業の実産性向上に係る供給側・需要側の双方に対する様々な支援拠点として、食品分野をはじめ道内製造業の実産性向上に寄与していく。

生産性向上ロボット導入・活用セミナー 参加申込書

<申込先> (地独) 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター
E-mail : kaiatsu@hro.or.jp FAX : 011-726-4057

※ 希望者多数の場合は調整させていただきますので御了承ください。

| | | | |
|------|-----|-------|--|
| 企業名 | | | |
| 業種 | | | |
| 所在地 | 〒 - | | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |

| | | | |
|--------|--|-------|--|
| 参加者氏名 | | 所属・役職 | |
| E-mail | | | |
| 参加者氏名 | | 所属・役職 | |
| E-mail | | | |

※ 申込情報は本セミナーの運営に関する組織内情報として使用いたします。



このセミナーは、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として北海道から委託を受けて実施されます。ご参加いただいた企業の皆様には、セミナー参加後の雇用面での取組や雇用実績などの調査をお願いしております。